

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者が、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体という」理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。					
経営方針	(1) 「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。 (2) 日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。					
本年度重点目標	I 知育の推進 II 徳育の充実 III 健康な身体の育成 IV 豊かな生活の追求 V 家庭地域との連携 VI 生徒募集 VII 教育施設設備の活用					
重点目標	評価項目	具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	平成27年度の実施状況	評価	職員からのコメント	関係者からのコメント
I 知育の推進	授業の充実と 難関大学進学に 向け啓発	①国・数・英で先取り学習実施（後期以降） ②英語・数学等で反復学習実施（復習・演習） ③補習の実施 ④進路指導講演実施（高校部・専門家・OB等）	・教員研修会参加 ・J2オタムキャンプで企業（JMU）・東大見学 校長・OB講話実施 進学意識高揚に効果あり ・実力テスト偏差値50以上 J2約10名 J3約22名が目標達成 年度後半に実績向上 ・職員を曜日別に割り振り 教室でも指導あり 指名補習が中心 ・3/中旬 内進高校3年生による進路講演実施 中学生の関心は高い ・啓発講話、安全面も含め、技能教科時の学習態度啓発指導			
	外部模試等で学 力把握	①学力推移調査受験 【ベネッセ偏差値60以上 5名/学年】 【ベネッセ偏差値50以上20名/学年】 ②実力確認テスト（高校入試）J3・J2受験 【順位 50以上 5名/学年】 【順位300以上 10名/学年】 ③英検等受験 【J2終了時 3級50%以上】 【J3終了時 準2級50%以上】	・ベネッセテスト J3 11月2回時 70台-0 60台-9 50台- 13 全国偏差値 J2 11月2回時 60台-1 50台- 9 70台が減少 入試 三科目 J3 500位前後以内 20名 850位前後以内 7名 例年並みの成果あり J2 850位前後以内 3名 ・英検10月 2級（1）、準2級（14）、3級（7） 第3回目結果で、例年並みの成果 順位の目標【順位50以内5名500以内30名】			
	生きる力や総合 力をはぐくむ活 動の設定	①活動後に、学習・体験の資料整理や展示・発表等の 総合力育成の場を設定 ②実行委員会を組織した生徒活動 ③発達段階や興味踏まえ、朝読書奨励【年10冊以上】	・J3模擬店/アトラクション J1・J2 展示/アトラクション 意欲的に取り組んでいる ・主要行事・フィールドワーク掲示発表 定番化してきた。個性が良く表れている ・科学研究講座J1有志参加（デイスカパリーパーク焼津） ・J3文化祭委員、修学旅行実行委員 J2 スポーツデイ、オタムキャンプ 実行委員 ・読書週間にビブリオバトル 年2回実施 レポートには主体性や個性がよく発揮された。			
日本文化理解と 国際教養醸成	①地域理解行事実施（修学旅行含む）【年1回以上】 ②講演や交流会の実施研究 ③英会話授業の実施【週1回】 ④禅寺の活用（学園の原点） ⑤国際教養講話実施	・J3 富士五湖 関西修学旅行 J1 三保の松原、登呂遺跡 総括を工夫し啓発効果を上げたい ・J1～J3伝統工芸体験（塗り箸、染め物、陶芸） ↑ ・国際教養特別講話（年4回）、感想文提出 ↑ ・J1～J3英会話授業（週一回）等で啓発 スピーチの取り組みに特に効果 ・J2 スプリングキャンプ（可睡斉にて宿泊訓練） 学校理解の機会をもう少し持ちたい ・J2 オタムキャンプ JMUの見学 ・海外高校生ホームステイ受入				
II 徳育の充実	基本的生活習慣 の確立	①身だしなみと挨拶の指導 ②TPOに合わせたマナー、学習態度等を発達 段階をふまえて指導。【全体指導を年4回】 ③清掃指導の徹底	・月例校風検査実施 ・J1 キャンプ や4月の集団道徳で徹底 基本の指導 ・全体講話時に当番生徒のロールプレイを活用し、意識付け ・職員主導で指導と点検実施 ・共通理解をもとに安定的に実施			
	特設道徳の充実 と行動化	①本校の理念の浸透、一斉道徳/講話実施 ②ボランティアの実施 【年1回実施】 ③自律性と社会性を培う場を設定し行動化を図る ④交通マナーの指導 ⑤道徳資料「中学生の道徳」の活用 ⑥情報端末使用時の人権問題啓発指導 ⑦「いじめ」皆無の指導 【調査年2回】	・理念と徳目に沿った校長等講話 指導要領に沿った題目で計画的に実施 ・日程変更のため未実施 独自の取り組みについて健闘したい ・全体集会の司会（HR委員） 前期J3 後期 J2 ・5月交通安全教室実施 マジオ自動車教習学校の活用 ・担任による道徳授業で適宜配慮 ・7月携帯安全教室（NPOイランパ） ・4月出合いの会実施 全体集会での啓発講話。			

II 徳育の充実	個を尊重する意識の醸成と態度の育成	①情報交換で個の把握 【月次定例部会実施】 ②欠席・遅刻の減少 ③生活帳の熟読とコメント ④個別指導には、養護、カウンセラー、生徒課の活用 ④中学生生徒理解研修会 【全職員で7月に実施】	・定例部会等で情報交換 ・担任段階で毎日把握、部長も確認 ・担任の熟読、アドバイザー記入を継続中 ・適宜支援を受け、安全を期している ・7月中高全体で情報交換している 6年かけて長所をよく伸ばしてやりたい				
----------	-------------------	---	--	--	--	--	--

平成28年度 藤枝明誠中学校 学校評価の指標 (中間・年間) 【職員・学校関係者】 (評価の基準 A 十分に実践されている B ある程度実践されている C 不十分 D わからない) H28. 4.1 裏

重点目標	評価項目	具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	平成27年度の実施状況	評価	職員からのコメント	関係者からのコメント
III 健康な身体 の育成	体育行事の用意 (団体行動や行事運営の基本も学習)	①スポーツデイ実施【年3回】 ②心身の持久力育成【耐寒持久走会】 ③体育大会の活用 ④武道奨励(男子:柔道、女子:剣道) ⑤部活動奨励 ⑥ダンスデイ実施(体育指導要領一表現力・集団)	・年三回実施 二回目から運営はJ2主体 生徒たちの自覚も向上している ・1月雨天延期 2月天候不順・監督観察体制不十分のため中止(授業で対応) ・団体競技練習(学級集団作りに生かす) ・柔道部・剣道部の寒稽古参加 ・棋道部 全国出場 ・11月に実施 表現のねらいについて改善の余地あり 来校者数は90名前後で過去最大			
IV 豊かな生活 の追求	特別活動や課外 活動の準備と充実	①キャリア教育の推進【土曜に設定 年間10時間】 ②文化祭に、学年・学級で参加 ③フィールドワーク(創作活動・施設/史跡見学等)【2回実施】 ④芸術鑑賞、修学旅行等の事前指導 ⑤行事や活動のまとめと展示 ⑥学級集団の向上(行事・授業等活用) ⑦県市町及び各種団体からの応募活動に参加 ⑧金曜6限「特別活動」の有効活用で集団育成	・ベネッセのワークシート/ファイル 活用 ・模擬店、アトラクション、展示・入試コーナー等 定番化した観あり ・J1~J3 7月制作体験 J1 3月山梨/富士周辺探訪 J2 大企業見学 J3卒業遠足 ・J1~J3 芸術鑑賞(三味線) J3古都の美術・芸術 検索研究 ・J3 修学旅行新聞作り J2 オープンキャンパス新聞作り J1 地域探訪新聞作り ・J1~J3 フィールドワーク・主要行事の事後指導として個別新聞作り実施 ・私学読書コンクール参加 ・各種行事の事前/事後指導 テスト計画と反省 学級/学年としてのふりかえり等生活改善と今後の展望に活用			
V 家庭・地域 との連携	対話の増加	①面談の奨励(希望面談も用意) ②保護者会実施【6月、2月で参加率100%】 ③行事文書配布や子供の現れの連絡(けが、病気含む) ④内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信	・7月休業中 定期面談とオープンキャンパス時等に呼びかけ 2月懇談会前後に実施 ・6月地区別保護者会(交通対策、夏の準備)、2月懇談会学年別実施(進級について) ・各行時通知・学年通信などを発行した			
	広報活動の充実	①学年通信の発行【年8回以上発行】 ②子供安全連絡網の活用 ③オープンキャンパスでのアンケート実施【参加率2回で100%】 ④ホームページの充実と行事や発表会の開放	・各学年で発行配布 年間8号まで発行する ・高校部と共通で活用した ・アンケート内では好意的な意見が中心。レポートや平日の来校は少し減少した ・内進生の入試結果報告 行事の連絡について活用した			
VI 生徒募集	渉外活動の充実	①説明会や講習会・オープンテスト等実施 ②小学校や塾への渉外活動【小学校50以上】 ③各種行事の活用(文化祭、吹奏楽定演等) ④リーフレット作成	・来校世帯名簿約100世帯登録、昨年度より微増した 活用方法を検討したい ・講習会・オープンテストについても同様 最後まで児童を引っ張る手立てを工夫したい ・5月、7月、10月に実施 複数回訪問する価値はあるが、内容については検討すべき ・文化祭入試コーナー 資料提供 吹奏楽定演には小学生多数入場 ・入試関連行事リーフレット4月に作成配布した			
VII 教育施設 設備の活用	快適な教育環境 の実現	①教室内外整理整頓、施錠管理、電源管理の徹底 ②駐輪場管理 ③設備・備品の保全 ④防災教育と訓練の実施【年2回】	・登校時、駐輪施錠確認等、下校時間帯2階巡視 当番職員配置(3段階で) ・年度当初全体指導、ロッカー使用のデモ・ロールプレイ指導等実施し、啓発をねらった ・電源管理・安全意識・セキュリティー意識比較的良好だった 部内点検ノート記録実施継続中 ・5月全校 第1回避難訓練 9月地域防災参加奨励			

学校評価は、ホームページでも公開します。表・裏の活動の方策や指標について、評価(期末)をします。評価は、学校全体の実践として評価してください。